



七夕まつり

中国から伝わった織姫と彦星の「星伝説」と、書道や裁縫の上達を願う風習「きこうでん乞巧奠」に、日本の「たなばたつめ棚機女」が神様のために着物を織る神事が合わさって、今日に伝えられている行事です。今年の7月7日は、織姫と彦星が無事に会えるでしょうか。夜空を見上げ天の川を探しましょう。

ぷーるあそび



夏の楽しみは、なんといっても子どもたちの心を開放し、楽しい気持ちにさせてくれるプールあそびです。でもちょっとした油断が大変な事故になりかねないので、安全には十分注意しながら、楽しく進めていきたいと思います。

以下のようなことが見られる時は、プールに入れませんので、ご注意ください。

- ・目、鼻、耳に疾患のある場合（結膜炎、中耳炎などですが、慢性の中耳炎などは医師の診断を仰いでください。）
- ・伝染性疾患の場合（とびひなど）
- ・発熱、下痢、風邪やうみを持った外傷、その他医師から禁止されている場合。



大人の役割

先日年長クラスの子どもたちが「ゆうあいホーム」のおじいちゃん、おばあちゃんのところへ訪問に行きました。「げんこつやまのたぬきさん」、「見上げてごらん夜の星を」の歌や、「でびる・びびる・がんばる」と「ばぶりか」の踊りを披露しました。100人近くのおじいちゃんたちに囲まれ、緊張していた子どもたちでしたが、たくさん拍手をしていただいたり喜んでもらって、子どもたちも楽しそうでした。最後に手作りのペンダントを首にかけてあげ握手をすると、涙を流すおじいちゃん、おばあちゃんもいました。子どもたちもその姿を見て、「なんだか涙が出そう」、「感動した。」と涙をぼろぼろ流す子もいました。何とも言えない気持ちになったようでした。

家に帰ってからお母さんに「おじいちゃんたち泣いとおったんよ。」と話した子がいて、お母さんから「どうしておじいちゃんたち泣いてたと思う？」と聞かれて、「僕たちが頑張って踊ったから、嬉しかったんだと思う」と答えていたとのお話がありました。

自分たちががんばったことで涙を流して喜んでくださるお年寄りの姿に接し、握手をしながら「ありがとね」「がんばりんさいよ」と声をかけてくださる温かい気持ちに触れ、お役に立てた事への喜びとともに、子どもたちもやさしい気持ちになったことでしょう。その日の話に耳を傾け、お子さんと一緒にその感動を喜びお母さんにも嬉しい気持ちになりました。「おじいちゃんたち泣いとおったんよ。」に対して、どうしても聞き返してあげ、ゆっくり話を聞いてあげることの素晴らしさを感じました。

6月11日に民生委員さんが15名ほど、園見学に来られました。「子どもたちが園庭を走っている様子や泥んこあそびを楽しそうにしている姿に元気をもらったよ」と言っておられました。その時も歌を聞いていただきましたが、おじちゃんおばちゃんのとくと同じく、外部の人の前では子どもたちは背筋を伸ばし、頑張るその気持ちに切り替え、きれいな声で歌う姿に、たくさんの拍手をいただきました。

民生委員のお一人が「お年寄りも子どもたちが来てくれると、いつもはいい加減に歌っている方も、まじめに歌ったりするんですよ。見てもらうってす

すごい力があるんですね」と言っておられました。また、近くの老人会へもぜひ来てくださいますようお願いされましたので、昔あそびを覚えていただいたり、歌やダンスなどで交流をしにいきたいと思います。

0歳児クラスで園内研修をした時のことです。0歳児さんは、テラスの上でハイハイをしたりコロコロ転がって遊んでいたりと、お部屋の中でお布団で眠っている子もいれば、あんよを頑張っている子など様々ですが、中には、乳児園庭で一緒に園庭あそびで遊んでいた1歳児クラスのそばに行き、1歳児がやっていることをじっと見て、まねっこして遊ぶ子もいました。砂を一生懸命すくって皿に入れたり、テーブルの上で車の型抜きを持って前後に走らせたり、そばにいた保育者が砂をばらばらとまくと、保育者の手のひらの上に何度も繰り返し同じように砂をばらばらと落として見せる子など、どの子もやりたいことに夢中になり、満足して遊んでいました。

乳児期の保育は、子どもたちのその時々の欲求にこたえ、やりたいこと、やろうとしていることに寄り添い、一緒に遊んだり、やっているときは目と目を合わせて心を通わせ、うなづいたり、微笑んだり、見守ったり、そっと手を差し伸べたり、眠い時はぐっすりねむらせてあげたりなど、欲しいときに欲しいだけ、その欲求にしっかりこたえてあげる、ゆったりした時間が大切だなと感じる研修になりました。

大人は毎日が忙しく、バタバタする時もありますが、人間の成長は乳幼児期の大人との関わりが多いほど豊かに育っていくと思うと、大人の役割はとても重要だと思います。お子さんの心の動きと一緒に考えてくださったお母さんのように、子どもの喜びや楽しさを一緒に共感してあげると、子どもの心は満たされ、「何かができる子ども」ではなく、「何かをやりたい」という意欲的な子どもになるのではないのでしょうか。一人ひとりの思いにしっかり寄り添っていきましょう。

これから梅雨に入り、お部屋でのあそびが主になりますが、各クラスとも子どものやりたいあそびをどんどん展開していきたいと思っています。



お泊り保育

北広島町のログハウス、『山の家』で年長組さんは、高校生のボランティアさんと一緒にお泊り保育を楽しみます。夕食の下ごしらえをし、近くの農園でトウモロコシを収穫し、大自然の中で体をしっかり使って楽しみます。

夜は、キャンプファイヤーをしたり、花火を見て楽しく過ごした後は、大きなお風呂に入ってぐっすり眠りにつきます。

普段とは全く違う環境の中で、みんなで協力し合う貴重な経験をたくさんしてほしいと思います。



お願い

日が長くなり、夕方お迎えの後に、園庭でお子さんを遊ばせている方が多く見られます。親子で楽しそうなのですが、三輪車や砂場遊具などが出たままになっていることがあります。日頃から子どもたちにも、お片付けの習慣がつくように話していますので、保護者の皆さんも使った遊具はもちろん、使っていないでも気が付いたら、お子さんと一緒に片づけていただきますようお願いいたします。また、熊野町では、夕方「夕焼け・小焼け」の曲を流して帰宅を促しています。この曲が聞こえたら帰るようにしましょう。

